

# ご近所の お医者さん

453

かもめクリニック院長 **木下啓太さん** 一大阪市港区

## 在宅医療

「在宅医療」と聞くと、医師や看護師が自宅に来て、医療が必要な人に診察や処置をするという漠然とした印象があると思いますが、実際にどのようなことをしているか知らない方が多いのではないのでしょうか。今回は在宅医療について簡単に

ご紹介し

ます。現在、高齢化などによる医療費の膨張に伴って、病院には在宅復帰率の向上や入院日数の短縮が求められており、早期退院を促す政策、制度が設け



## 専門家が連携、サポート

けることになることも少なくありません。また、認知症を含む精神疾患を抱えていたり、筋力低下により歩行が困難だったりする患者さんは、医療機関への通院さえも大きな負担となります。

在宅医療では、このような方々の自宅に定期的に訪問して診察をし、血液検査、点滴、ぼうこう留置カテーテルの交換、胃ろうの処置なども行います。診察の予定が入っていなくても、

病状に変化があれば電話で相談にのじたり、臨時で往診したり、病状によっては病院へ紹介したりもします。

自宅ではできない処置や検査ももちろんありますが、このように医師が見守っていることで、患者さんやご家族の不安も少しは和らぐのではないのでしょうか。医師の他にも、訪問看護師や歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、

理学療法士などさまざまな職種が密に連携してサポートしています。団塊の世代が75歳以上になる2025年には、在宅医療がより必要になると考えられます。在宅医療の取り組みは全国で進められており、大阪でも各区に在宅医療・介護連携相談支援室が設置されています。希望される方はまず、かかりつけの医師やケアマネジャー、地域包括支援センターや行政の窓口にご相談してみてください。